

焦るな受験生

堂本 学

内容

焦るな受験生	1
勉強嫌いな中学生が勉強を好きになる方法とは？勉強嫌いが克服しない場合の対策も解説	4
勉強にセンスや才能は必要ない！誰でも成績はアップする理由.....	9
筆者：堂本 学	13

『筆者：堂本 学』は段ボール通販の[アースダンボール](#)を応援しています。

勉強嫌いな中学生が勉強を好きになる方法とは？勉強嫌いが克服しない場合の対策も解説
学習をする上での精神論

ると勉強をしないといけない量が増えますし、難易度も上がります。

なので、中学生になってから「勉強が嫌い」という子供が、かなり増えるのです。

中学3年生になれば進路を決めなる大切な受験を、考えないとはいけません。

その前に、中学生の子供の勉強嫌いを、どうにかして克服する方法を本記事ではお伝えしていきます。

ベネッセ教育総合研究所の親子パネル調査によれば、小学6年生から中学1年生の1年間で、勉強が好きから嫌いになった子供は、全体の約20%だそうです。

中学2年生では勉強嫌いの子供は全体の約60%に増えることから、中学生になると勉強が嫌いになる子供が増えるということでしょう。

勉強嫌いになる原因は、勉強の内容がむつかしくなったり、量が増え授業についていくことができなくなるからだと考えられます。

しかし、勉強が苦手だという意識を持ってしまうと、高校の受験に対してもかなり大変になるのです。

子供が勉強嫌いにならないように、しっかりと対策をしておく必要がありますね。

中学生の勉強嫌いを克服する方法を、一つ一つ紹介していきましょう。

環境を見直してみる

家で勉強をするときは、部屋を片付けて勉強に集中できる環境にします。

子供の部屋があるなら、部屋にはアニメの本だったりテレビだったり、パソコンだったりスマートフォンやお菓子など、勉強の妨げになりそうなものは置かないようにすると良いでしょう。

まずは、簡単に片づけることから始めます。

そして、部屋の室温を低めに設定することも、おすすめします。

特に夏などは部屋の温度が高くなりやすいので、頭がボーとしてしまいやすいのです。

リフレッシュするためと昼寝をして、夜まで寝てしまうということが無いように、部屋の温度は少し含めに設定しましょう。

以上のことをしてもやる気が出ていない場合は、部屋から出てリビングで、勉強をしたり図書館で勉強をするなど、環境を変えるのも効果的です。

子供の部屋にアニメの本やゲームなどあれば、誘惑に負けてしまう可能性もあるので視界に入らないところに置いておきましょう。

そうすることで、勉強に取り組みやすくなりますし、集中しやすくなるのです。

気分転換をする

勉強を続けていると集中力が途切れることがありますが、そういう時は思い切って気分転換をするほうが良いでしょう。

理由としては、無理をして勉強をしても、記憶に定着しないので時間の無駄になることが多いのです。

だらだらと勉強をするよりも、集中力が途切れたら休憩を挟むということも大切です。

ただ、仮眠をする場合は 30 分以上の仮眠は逆に疲れが残ってしまうと言われているので、15 分程度の仮眠程度に抑えましょう。

ほかにも、心地よい音楽などを聴くとか、好きな音楽を聴くというのも一つの方法です。

集中したい場合は歌詞の内局を聞いたり、やる気を出したい場合は好きな曲やノリの良い曲を聞くと良いでしょう。

また、軽い運動も気分転換には効果的で、運動をすることで血流が良くなり酸素が体内にいきわたるので、前進がリフレッシュできます。

散歩やストレッチなどをすることで、頭がスッキリして記憶の生理にもつながると言われています。

勉強のやり方を工夫してみる

勉強を開始するときは、何となく取り掛かるのではなく、何らかの目標を決めることが大切です。「〇〇高校に合格する」という大きな目標を立て、そこから逆算をしていく感じが良いでしょう。

たとえば、「〇〇高校に合格する」にはどうすれば良いのか、「次の定期テストで〇〇点を取る」「次の模試で〇位に入る」など、細かい目標を決めていくようにしましょう。

細かい目標を立てられたら、「いつまでに」「何を」「どれくらい」勉強するのかを、スケジュールを立てると効果的と言えます。

今日は何をどれくらい勉強すれば良いのかということが、分かりやすくなるのでやる気もわきやすくなるでしょう。

一番大変なのが勉強を続けることではなく、勉強を始めることなのです。

勉強を始めれば、いつの間にか集中して時間が経過していたということもあります。

しかし、勉強をいつの間にか始めていたということは、余り無いでしょう。

つまり、最初の難関である勉強を始めることを乗り越えるためには、机に座って教科書を開くという簡単なことから始めると良いですね。

中学生の勉強嫌いが酷くなる原因

勉強嫌いになる最大の理由としては、「勉強内容が分からない」ということです。

筆者自身も中学生のころは勉強内容が、全く分からないので勉強嫌いになった側の人間です。

しかし、筆者の経験では勉強嫌いになる理由は、勉強がむづかしいからだけではありません。

勉強嫌いになる理由は、以下のような条件が重なります。

- ・分からないという状態を放置している
- ・無条件に勉強を強制する
- ・他人や兄弟と比較する

中学生の子供がいる家庭で、勉強嫌いの子供を持つ親なら「あるある」ではないでしょうか。

それでは、どうして勉強嫌いになるのかについて、一つ一つお伝えしていきましょう。

分からないという状態を放置している

当然の話なのですが、分からないという状態を放置しているとドンドン勉強がむつかしく感じるようになります。

たとえば、数学や英語なども、基本ができていないと応用などが、難しく感じてしまうのです。

分からない状態を放置したままでいると、あっという間にわからない総量が増えてしまい、全く勉強ができない子供になってしまうでしょう。

そうすると、学校の授業もつまらなく感じますし、理解も難しくなります。

当然ですが、テストの点数も良い点は取れず、勉強嫌いが重症化していくのです。

なので、分からない状態をなくすためにも、早い段階で親が理解してあげて、対処していくことが大切と言えます。

無条件に勉強を強制する

勉強嫌いの子供の親や周囲の人を見ると、「勉強が分からないから勉強をするべきだ」という人は多いです。

しかし、勉強をする子供視点で考えれば、勉強の内容が分からないのに、勉強のやりようがないというのが本音ではないでしょうか。

たとえば、車の整備の勉強を今からやって、1週間後に3級整備士になってくださいと言っても、出来る人はいません。

理由は、最近のエンジンは複雑化していますし、覚えることがかなり多いからです。

確かに、徹夜で勉強をすれば、目標を達成する人もいますが、そういう人はごく稀だと思ったほうが良いでしょう。

つまり、無条件に勉強を強制することは、勉強嫌いが酷くなる可能性が高くなります。

余りにも勉強をしないからと言って、怒るのもいけません。

勉強をしない子供に対してではなく、自分の言うことを聞かないから怒るという感じで、子供側が受け取る可能性があるのが逆効果です。

そもそも、勉強のやり方が分からないのに、強制をしても無駄です。

まずは、内容を理解するために、解決の糸口を見つけましょう。

他人や兄弟と比較する

筆者が知る限りの勉強嫌いの親は、他人や兄弟と比較する傾向が強いように思えます。

他人と比較したい気持ちは理解できますが、他人の子供と我が子では基本的な環境や、生まれ持った能力などが違います。

さらに、他人の子供や兄弟と比較することは、子供に劣等感を強く植え付ける可能性があるでしょう。

比較するというのは捉え方によっては、見下し行為につながるもので、やめたほうが良いですね。

勉強嫌いを予防するための方法

勉強嫌いにならないためには、小学生のころから「予習」「復習」をさせるということが大切です。さらに、親も勉強を見てあげて直接教えるのも、効果的と言えます。

筆者の経験では「復習」だけでも、小学生のころからしておけば、どこが分からないのかが即座に理解できるでしょう。

さらに、子供が質問しやすい環境にしておくのも、最も重要な事だと言えます。

確かに、家事などで忙しくて、子供の相手をしてもらえないこともあるでしょう。

しかし、「忙しいから相手にしない」では、勉強嫌いになる可能性もあります。

なので、忙しくても「○○をしたら見てあげるから」と言って、分からない部分を一緒に考えることが大切だと言えるでしょう。

まとめ

中学生の勉強は、いきなり難しくなるような気がします。

さらに、環境もガラリと変化するので、勉強が苦手という子供が増えやすくなるのでしょうか。ただ、勉強をしないからと言って、無理に勉強を強制しても勉強嫌いが酷くなる可能性があります。

どうして勉強をしたくないのかということについて、話し合う時間を設け解決に向かうほうが良いでしょう。

勉強にセンスや才能は必要ない！誰でも成績はアップする理由

成績の良い子を見て、「あの子はセンスや才能があるから」という感じで、羨ましく思っていないませんか？

筆者が学生のころは、よく成績の良い子を見て「センスや才能があるから、勉強ができるんだろう」と考えていました。

確かに、親も頭が良くて子供も頭が良いということは、良くあることかもしれません。

しかし、実は成績アップは誰でもできますし、センスや才能は必要なかったりもするのです。

本記事では、勉強にセンスや才能は本当に必要なのかや、センスや才能より優れた学習方法を紹介していきます。

結論から言えば、勉強にセンスや才能は全く必要ではありません。

必要なのは、「努力する事」と「知ろうという意思」だけです。

結局、「成績アップにはセンスや才能が必要」と考えているのは、現実逃避であり自分に甘えているだけだと言えるでしょう。

勉強ができる人は才能があるように感じられますが、勉強ができるようになるまでに、かなり努力をしてきた結果だと言えます。

勉強がしんどいと思うのは、知識が無い最初のころです。

しかし、理解を深めていくことによって、成績はぐんぐん伸びるようになります。

高校入試などに合格しようとするなら、一生懸命勉強をするしかないのです。

つまり、勉強にセンスや才能は必要なく、努力をすることで誰でも成績アップが可能だということです。

努力はセンスや才能だと考える人のやるべきこととは？

「努力こそ、才能だろ？」と考えるひとも、いるかもしれません。

才能とは何なのかを、最初に考えてみましょう。

才能とは、「生まれつきの才知の働き」です。

「音楽の才能がある」というふうには、よく使われることがありますね。

ただ、「才能がある」というのは一種の天才ではありますが、勝てないわけではありません。

確かに、軽自動車と乗用車の差はあるかもしれませんが、軽自動車でもチューニングをしていけば乗用車に勝るエンジンになるのです。

つまり、才能がある人より成績アップするには、自分自身を変えていき努力をする必要があるということになります。

じゃあ、「努力こそ、センスだろ？」という人も、ひょっとしたら現れるかもしれません(笑)

センスという意味を、次は考えてみましょう。

センスとは、理解や表現の良さなので、努力をセンスだというのは違和感があるように感じられます。

センスというのは、元々英単語の「sense」で、感覚や理解などや認識という意味があるのです。

使い方としては「今日の服装はセンスが良いね」という感じで、使われます。

つまり、勉強にはセンスや才能は必要なく、必要なのは努力だということです。

才能やセンスの正体はコレだ！

才能やセンスという言葉の正体は、簡単に言うと「後付け」です。

人は結果しか見ていないので、いくら頑張っても「才能やセンスがあるから」で片付けられるのです。

つまり、人が頑張った結果だけで人は判断をしているので、後から付け加えられただけの言葉だということになります。

実際に、才能があるから結果を出せたという事例は、実はありません。

さらにいえば、勉強というジャンルに限らず、スポーツやビジネスにおいても、「才能があるから結果が出せた」ということはないのです。

例えば、メジャーリーグで活躍したイチローこと、鈴木 一朗さんはNPB/MLB 通算でのプロ野球における通算最多安打数を樹立しました。

しかし、これは才能なのでしょうか？

違います。

イチローさんは上を目指すために、かなりの努力を積み重ねてきたのです。

その結果が、ギネス世界記録という結果を生み出したのです。

逆に、「俺は才能があるから練習をしなくて良いんだ」という考えの人が、ギネス世界記録を生み出せるのかと言えば、生み出せないでしょう。

勉強も同じで才能があるから、結果が出せるわけではないのです。

努力をして小さなことを積み重ねてきた結果が、成績アップにつながったということです。

センスや才能よりも優れた学習方法

やみくもに勉強をすれば良いわけではなく、分からないところは学年を落として、基本から学んでいくほうが良いです。

現在中学3年生でも小学6年生くらいの学習をしても、おかしくはありません。

たまに、「恥ずかしいこと」と受け取る人もいますが、これは大きな勘違いです。

なぜなら、勉強に「恥ずかしい」ということはないからです。

小学生、中学生と分けしているのは、学校というシステムによるところが大きいように感じます。

ただ、勉強をするという立場の学生にとっては、そういう分けに縛られないで、理解ができない部分があるなら、理解できていないところを探し出し、理解ができるようになるまで勉強をするほうが良いのです。

筆者の考えは、無理をしない範囲で勉強の量を増やし、勉強の質を高めていくことです。

そういう風にすれば、かならず成績アップにつながっていくでしょう。

通信講座を利用するのも一つの方法

成績アップを目指すなら、通信教育を利用するのも一つの方法です。

色々ある通信教育の中でも、「スマイルゼミ」をおすすめしたいです。
なぜなら、スマイルゼミには、生徒一人一人に合わせた個別指導のシステムがあるから。

たとえば、現在の学習で分からない部分があれば、さかのぼり学習が可能です。

さらに、「つまずき解析」というものがあり、どこが苦手なのかが具体的にわかるようになっています。

数学の問題なら、問題を解く過程から間違いを分析し、つまずきの原因を正確に把握できるのです。

家庭学習で自分でもできるのですが、どこが理解できないのか 1 人だけの学習の場合は、「分からないところが分からない」という状況になっている可能性が高いです。

「ここが苦手だろう」という適当な考えで、さかのぼり学習をしても、全く意味が無かったということも少なくありません。

スマイルゼミでは、そうした「つまずき」を正確に解析し、さかのぼり学習によって基礎を学ぶことができ苦手を解消することができるのです。

タブレットで学ぶ幼児・小学生・中学生向け通信教育[スマイルゼミ]

まとめ

勉強というのは才能やセンスがあるからできるのではなく、努力をして初めて結果が出るのです。

結局「才能」「センス」という言葉は、結果の後につけられた言葉であり、自分に対する甘えからできたものだと言えます。

成績アップを目指すなら、努力の積み重ねをしたほうが良いでしょう。

筆者：堂本 学

小学生のやる気を出させたら宇宙一！

小島よしおもビックリのヒカキンネタで笑わせます><